

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4292
22年10月18日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。

郵政ユニオン長崎中郵支部第11回定期大会開催

10月15日(土) 13時30分より長崎地区労働館で郵政ユニオン長崎中郵支部第11回定期大会を開催しました。大会は原田副支部長の挨拶から始まり、議長には今大会が最後となる前支部長の高口さんが選出されました。冒頭での支部長挨拶では、山田支部長が「2021年度はコロナ禍で組合運動が制限される中、2名の組織拡大があった。ここ数年労働相談をきっかけに組合に加入するケースがあり、労働組合の基本である職場や労働者の声に耳を傾けることが大事だ」と参加者に訴えました。

続いての来賓挨拶では、長崎地区労加世田書記長、長崎県労連鳥巢事務局長、九州労働金庫長崎支店

田次長、新社会党荒木書記長の4名の方に挨拶を頂きました。また、九州地本米地委員長、坂本浩長崎県議会議員、中里泰則長崎市長議員、千葉の秋富様からは、大会へのメッセージを頂きました。紙面を借りてお礼申し上げます。

大会は休憩を挟み第1号議案を向井書記長、第2号議案を海江田執行委員、第3号議案を山田支部長がそれぞれ提案しました。

その後の質疑討論では職場の状況や、日頃不満に思っていることなどを出席者全員が発言しました。一部紹介します。○誤配しないようにしているが他の社員の配達が速いので焦りがある。



○先日の周知で、来年の1月から減区を試行的に行くと周知があった。今すぐではないがどうなるか不安だ。○安全には時間を割いて構わないと言いつつ残業の締め付けを行ってくる。



○ビジネス区の人は自分の配達終了後、他班に応援に行くようになってから休憩時間の未取得がある。管理者がしっかり管理して欲しい。

○区によってアンバランスがあるので、みんな定時で終われというのはおかしい。

○定時で終わらせるために休憩時間を削っている社員がいる。○2区目を通区しているが、通区2日目から一人で配達しなければならぬような通区はおかしい。

無理なく覚えることが出来るように、数日は随伴通区をして欲しい。年齢的にも覚えるのに時間がかかり、配達が早く終わらない。班員からの目に見えないプレッシャーを感じる。

○4月に職場で新人が採用されたが、その社員に対して役職者が他の労組へ加入するように言っているのを聞いた。上司から組合加入を促されたら断れるはずがない。複数労働組合あるのに選べないのはおかしいのでは？



一旦休憩を挟み、組合員から多く意見が出た、「定時へのプレッシャー」について再度議論しました。

原田副支部長からは自分の体験談として「以前残業になった時に管理者から遅かったですねと言われた事があった。その

時に誰と比べて遅いと言っているのですか？と言いつつ返したらその後は何も言われなくなった」と発言がありました。

他にも様々な意見がでましたが、最終的には、配達区にもアンバランスがあり、配達のスピードにも個人差がある中で同じ時間に終わることは無い。長中局には社員がプレッシャーに感じている。ミーティングでの一元的な「定時で終わるように」との指示を止めるように求めていくことを確認しました。

その後、議案採決、役員選挙と続き、最後は山田支部長の団結ガンバリで締めくくりました。



尚、今定期大会は組合員の関心が高く、退職者を含め多くの参加が有り、元気が出る大会となりました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めいせ、均等待遇、なげんご差別ー。

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞー！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

